

毎週日曜発行  
2021 10/10

# こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



## 地球のためにできること

### 日本でも医療崩壊の危機



世界の発展途上国には、病気になるっても治療を受けられずに亡くなる人が多くいるのを知っている？ 国連の持続可能な開発目標（SDG S）の一つ「すべての人に健康と福祉を」は、こんな

きょうのテーマ



# 一人一人予防をしっかりと

現実を変えることを目指しているよ。新型コロナウイルスの感染が続く日本にとっても、深刻なテーマになっているんだ。

5歳までに病気で亡くなる子どもが世界で520万人に上るとされています。6秒間に1人が死んでいる計算になります。予防対策や医療環境が不十分なため、日本ならすぐ治療できるような下痢や肺炎で命を落とすケースが後を絶ちません。遠い国の話に聞こえるかもしれませんが、コロナの流行で日本でも人ごとではなくなりました。感染者急増で病院がいつぱいになり、医療が受けられない「医療崩壊」が起きた地域もあります。

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



防護服を着て新型コロナウイルス患者の治療に当たる東大病院の医師と看護師（東大病院提供、写真の一部を加工しています）

宮城県ではこれまで1万6000人以上が感染し、9月末時点で117人が亡くなっています。最近では落ちてきてしましたが、感染拡大がピークだった8月中旬には入

院できるベッドの8割近くが埋まりました。「コロナ患者1人の診察には複数の医師や看護師らが必要な上、感染予防のために大がかりな防護服を着なくてはならなかった。とても大変で他の患者に手が回らなくなり、本当に苦しかった」

3月まで仙台市立病院（太白区）の副院長だった村田祐二さん（66）現・市夜間休日こども急病診療所長は、医療現場の状況を振り返ります。「すべての人に健康と福祉を」の目標からほど遠い様子にあったと言えます。

村田さんは手洗いと手指消毒の徹底、マスク着用、3密（密閉、密集、密接）を避けるなどの対策をしっかりとやることを強調。「敵を知って対策をすれば大丈夫。コロナ終息後も新たな感染症の流行は起こり得るが、コロナの経験から学び適切に対応できるように頑張ってほしい」と言います。

SDGs達成のためには、一人一人ができることをやるのが大切。すべての人の健康を守るためもうしばらく頑張ろう。

### 今週の注目ニュース

◇11日（月）プロ野球ドラフト会議  
プロ野球12球団が、獲得したい高校生や大学生、社会人のアマチュア選手を指名する会議だよ。1巡目で複数の球団が同じ選手を指名した場合、抽選で入団交渉権を得る球団が決まるんだ。ドキドキするね。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりレポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7・8面 投稿特集